



## 子ども家庭総合支援センターを開設

5月1日、市役所5階に「子ども家庭総合支援センター」を開設しました。

これまで、子ども支援課、子ども・若者相談センター、発達支援相談センターの3つの所属に分かれて行っていた相談業務を一元化し、妊娠期・子育て期の相談から、30代の子ども・若者の相談に至るまで、切れ目のない支援をワンストップで行うことができるようになりました。

開所初日も、早速、母子健康手帳の交付を受けに訪れた妊婦さんに、母子保健コーディネーターが寄り添い、不安や悩みなどがないか丁寧に対応していました。

一言に子育てに関する相談と言っても、妊娠期から子育て期まで、その時々で様々な悩みや不安があると思います。そのため、センターでは、幅広い相談に対応できるよう、専門の資格を持つ職員が、それぞれの状況に応じた支援を行っています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出する機会が減り、周囲の人と接する機会が少なくなる中で、子育てに関する不安や悩みをひとりで抱え込むようなことはないでしょうか。

しばらく前のことになりますが、私も父親として子育てで壁にぶつかったとき、周囲の皆様にはアドバイスをいただき、気持ちが楽になった経験があります。

また、長年、子どもたちの空手の指導に関わる中で、ちょっとした声掛けをきっかけとして、俄然やる気になった子もいました。

子育てには多くの人に関わることが大切です。

妊娠や子育てのことでお困りのことがある時は、決してひとりで悩むことなく、気軽にご相談ください。



センター職員と

市長 畠山 稔